

令和3年度第1回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録

日時・場所：令和3年4月20日（火）15:30～16:30 評議会室

出席者：廣川理事長、青木副理事長、山根理事、安原理事、高橋理事、
林理事、上原理事、山本監事、元永監事

事務局：八里事務局次長、山田総務課長、高木財務課長、寺村経営企画課長、
武田学生・就職支援課長、郡田教務課長、山中地域連携・研究支援課長、
塚本参事、杉田課長補佐、藤居主幹

令和2年度第13回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録（案）は原案のとおり承認された。

議 題

（報告事項）

1 新型コロナウイルス感染拡大予防にかかる対応について

青木副理事長から、資料に基づき報告があった。

〔主な意見・質疑等〕

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる大学活動レベルは、どのように決められているか。

→県の基準、近隣府県の状況、学生の感染状況等、様々な要素を総合的に勘案し、理事長が決定している。

2 令和3年度運営方針について

廣川理事長から、資料に基づき報告があった。

〔主な意見・質疑等〕

- ・大学運営のデジタル化にはどのように取り組まれているか。

→学生には1回生時に情報リテラシーの授業で情報処理を指導している。

また、大学のパソコンを利用できるようにしており、困窮者に対してはパソコンやルーターの無償貸与をしている。

事務業務のデジタル化については、個人情報の取り扱いや電子決裁システムの導入が課題である。

3 人事異動について

廣川理事長および山田総務課長から、資料に基づき報告があった。

4 令和3年度各入学試験の結果概要について

郡田教務課長から、資料に基づき報告があった。

[主な意見・質疑等]

- ・県内者の割合が多かった以外には、どのような特徴があったか。

- 国際コミュニケーション学科の志願者が減少する一方で、人間看護学科の志願者は増加した。また、既卒者の入学者が減少した。